

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



海水浴場の安全を祈願する関係者（さがらサンビーチ）

待ちに待った夏の到来！

■海水浴場海開き

さがらサンビーチと静波海水浴場の海開きが7月17日に行われ、両海水浴場で開場式として、シーズン中の安全を祈願する神事が行われました。

さがらサンビーチでは、安全祈願神事後、日本ライフセービング協会によるIRB（救命ボート）競技のデモンストレーションを行いました。両海水浴場での遊泳期間は、8月31日までです。

また、毎年多くの海水浴客が訪れる「海の家」もオープン。日陰で体を休めることで、熱中症予防にもなりますので、ぜひご利用ください。

スポーツを通じて子どもたちや市の未来のために

■「スポーツを活かしたまちづくりのためのパートナーシップ協定書」締結式

市と株式会社フェニックスは7月28日、「スポーツを活かしたまちづくりのためのパートナーシップ協定書」を締結しました。

同社はBリーグ所属のバスケットボールチーム「三遠ネオフェニックス」を運営する会社で、この協定はスポーツを通じたにぎわいの創出や地域経済の活性化、青少年の健全育成などが目的です。

同社は、昨年度市内小学校でバスケットボール教室を実施しており、今後は公式戦にて市民優待企画の「牧之原DAY」の実施を検討していきます。



協定書に署名をする岡村秀一郎代表取締役社長④と杉本市長

市の特色であるサーフィンを身近に

■マリンスポーツ体験会／細江小学校

市では6～7月、地元のサーフィン関係者の協力の下、市内の小学校で「マリンスポーツ体験会」を開催しました。

細江小学校では、7月14日と16日に5・6年生を対象として、体験会が開催されました。同校では初めての開催で、プールでサーフィン関係者がサポートしながら体験を実施。最初はボードに立つことができなかった児童も繰り返し練習するうちに、ボードに立ったりポーズを決めたりとマリンスポーツの楽しさを満喫しました。



サーフィンを楽しむ細江小の6年生（7月16日）



協定書を手にする木村代表取締役社長④と杉本市長

地域資源と商品開発で市を盛り上げる

■木村飲料株式会社と包括連携協定を締結

市と木村飲料株式会社は7月17日、包括連携協定を締結しました。

昨年9月の台風15号による竜巻等災害を受けて締結に至ったもので、災害時に同社保有の井戸水を無償提供いただくほか、産業や教育分野などでも連携し地域活性化を図ることが目的。

同社の木村祥吾代表取締役社長は、「お茶やレモンなど市の地域資源と弊社の商品開発力を合わせて、シティプロモーションなどにつなげていただきたい」とあいさつしました。

愛されて1周年！お祝いと感謝を込めて

■道の駅「そらっと牧之原」1周年大感謝祭

道の駅「そらっと牧之原」の開駅1周年を記念したイベントが7月11日から20日まで、同所で開かれました。

昨年7月18日に市内で初めて開駅した同駅には、連日県内外から多くの人々が訪れ、約1年で来場者100万人を達成しました。イベントでは、福袋や地元農産物の販売、ステージイベント、マルシェなど、さまざまな催しが開催。開駅1周年を迎えた18日には夜市も開かれ、記念の花火が打ち上げられ、夜空と地域を彩りました。



1周年の「1」にちなみ、3つの価格帯で販売された福袋



駅長とじゃんけん大会をする来場者（7月11日）



駅長や大石副市長などが参加した餅まきは盛況（7月18日）

みんなでお茶について学ぼう！

■第21回一番茶品評会・お茶教室

市認定農業者協議会の一番茶品評会とお茶教室が7月14日、い〜らで開催されました。

品評会には、同会員の茶工場から44点の一番茶が出品。外観や水色、香気、滋味の4項目について審査され、最優秀賞には名波靖功さん（相良支部）のお茶が選ばれました。また、お茶教室は、静岡牧之原茶に親しみを持ってもらおうと、市内小学校3年生を対象に開催。児童は、お茶に関するクイズやお茶の入れ方を学習したほか、品評会を見学して実際に茶葉の感触や匂いを感じていました。



会員からお茶の入れ方を学ぶ牧之原小の児童



静波海岸でサーフィンを体験する参加者

移住のために市の魅力を知って

■移住体験ツアー

市は7月4日と5日、県外在住の女性を対象とした移住体験ツアーを開催しました。

本市への移住・定住の促進を目的に、国内唯一の人工造波施設がある環境で女性が安心してサーフィンのある生活を体験してもらうために、1泊2日のツアーを年2回実施。1回目の今回は4人が参加し、サーフィン体験や市内見学などを行いました。参加者は、「丁寧にサーフィンを教えていただいた。また来たい」「地元の人や参加者同士で話ができて良かった」と感想を話しました。